

『九朝の都』 洛陽派遣を通して感じたこと

発行者 岩見航太郎

ぼくはこの海外派遣団で、中国の洛陽市に8月1日から8月8日までホームステイをさせていただきました。この特別な体験で感じたことをレポートにしてまとめます。まず、洛陽市と岡山市の比較をします。

	面積 (km ²)	人口 (人)	人口密度 (人/km ²)
岡山市	790	721,163	913
洛陽市	15,230	6,150,000	404
倍率	19.3倍	8.5倍	0.4倍

多くの王朝がこの地を都としたため、別名『九朝の都』と呼ばれているそうです。また、紙の発明者「蔡倫（さいりん）」、多くの名詩を残した「李白」・「杜甫」、名医「華佗（かだ）」らが活躍したことで知られ、中国古代文化の中心地でもありました。



南郊には竜門石窟があり、仏教の中心地としての側面もある都市です。人口、面積、歴史や文化で相違点が多いですが、岡山市との共通点は『交通の要衝』として今も発展し続けていることだと思いました。

《ビックリ！ポイント》

移動手段はバス、自転車、タクシーがありました。バスの運賃はとて安く、1元（17円）で乗れました。

《おすすめ！ポイント》

ホストファミリーの人たちが案内してくれた、遊園地兼動物園の王城公園がとても広い！いつも王城公園で遊んでいるんだなと思いきや、羨ましかったです。遊園地の乗物は一回平均20元（340円）くらいで乗れます

《イチオシ食事！ポイント》

やはり中華料理。しかも量が多い！エビを蒸した料理が美味すぎる！！

色々食べたけど一番美味しかったのは、ホストファミリーのお母さんが作った『手料理』でした。